

事 務 連 絡
令和 7 年 5 月 30 日

都道府県下水道担当部長	殿
政令指定都市下水道担当局長 (上記、各地方整備局等経由)	殿
市町村下水道担当部長・課長 (上記、各都道府県経由)	殿
日本下水道事業団事業統括部長	殿
都市再生機構下水道担当部長	殿

国 土 交 通 省 水 管 理 ・ 国 土 保 全 局
上 下 水 道 企 画 課 管 理 企 画 指 導 室 長
下 水 道 事 業 課 事 業 マ ネ ジ メ ン ト 推 進 室 長

雨水が流入する下水道管路内工事等における 作業時の安全確保の徹底について

令和 6 年 9 月 19 日、神奈川県相模原市発注の下水道管路の耐震化工事において、大雨に伴う急激な水位上昇により工事作業員 2 名が流され、その後、死亡が確認された事故が発生しました。

この事故を受けて、相模原市では安全対策検討委員会を計 3 回開催し、事故発生に関連すると思われる要因や再発防止に向けた対策案について整理した「下水道工事での事故を踏まえた公共工事の安全対策報告書(中間とりまとめ)」^{※1}を公表し、今後は、来年度の工事発注に向け特記仕様書の見直しなどの対策を具体化し、別紙の通り再発防止に取り組むこととされました。

各下水道管理者におかれましては、雨水が流入する下水道管路内における工事等において、降雨が予想される場合の工事の中止や作業員の迅速な退避などの安全対策の徹底をするとともに、当該事故要因や再発防止策を参考として、安全管理に対する指導を徹底することで受注者の安全意識の醸成を図り、事故の未然防止に努めていただくようお願いします。

※1 下水道工事での事故を踏まえた公共工事の安全対策報告書(中間とりまとめ) 相模原市
<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026823/1004443/1031695/1031696.html>

【事故発生状況】

下水道管路（雨水）の耐震化工事において、道路の下約10メートルに埋設された管内での作業中、急な降雨の影響により、管路内の水位が急上昇し、避難中の作業員等のうち逃げ遅れた2名が流され、行方が分からなくなったもの。

救助・捜索活動により、下流に位置する相模川で男性2名が心肺停止状態で発見され、その後、死亡が確認された。

【考えられる事故発生要因】

- 作業場所に係る集水範囲や流達時間等の詳細情報の把握・認識及び気象情報の収集・分析が不十分であった可能性がある
- 管きょ内が増水するまでに避難を完了するための厳格な中止基準及び中止判断後の人命優先とした避難行動の明確なルールがなかった
- 情報伝達機器に不具合があり、作業中止の伝達に時間を要した
- 急激な増水を予見できず、時間的な猶予があるものと認識して、迅速な避難行動に繋がっていなかった可能性がある

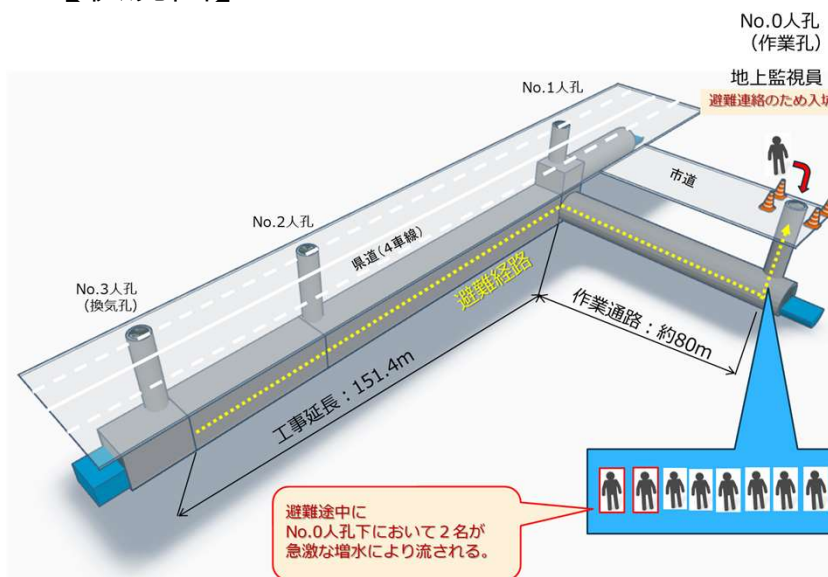
【主な再発防止策】

- 上流域・周辺域における降雨・落雷や管きょ内水位等の観測値に基づく、局地的大雨に対する早期の警戒情報を現場に自動配信するシステムの導入
- 管内作業箇所と地上間における複数の連絡手段の確保及び情報伝達機器の動作確認の徹底
- 現場条件に応じた複数の避難ルートの設定と訓練の実施
- 人命優先の避難行動の基準化と作業所内での周知
- 発注者が開催する下水道工事固有のリスクを踏まえた安全講習会や気象講習会の受講
- 元請業者に高度な工事管理能力を有する資格者の配置
- 外国人労働者や新規入場者に対する安全教育の充実
- 発注者による工事着手前の安全対策の確認並びに工事現場の安全パトロールの実施
- 重大事故を風化させないための事例の蓄積と知見の共有
- 上記再発防止策の内容を踏まえた工事特記仕様書の見直し

【位置図】



【状況図】



【状況写真】



作業途中の製管状態（事故後）